



科目名:災害看護

単位(時間):1単位(15時間) 3学年

- 科目目標:1 災害医療・災害看護に関する基礎的知識・技術を習得できる。  
 2 災害時の応急処置の方法を理解できる。  
 3 災害時における国際社会での諸外国との協力について考えることができる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 災害医療・災害看護の概念について理解できる。	4 (2回)	1) 災害の歴史と災害看護 2) 災害医療対策 (1) 災害に対する法律や制度 (2) 関係機関の支援体制 (3) 災害医療拠点病院の役割 3) 災害の種類と特徴 (1) 災害の分類 (2) 災害の種類と疾病構造(熱傷、骨折、脊髄損傷など) (3) 災害サイクル (4) 災害時要援護者 4) 災害医療の基本 5) 災害看護の定義と特徴	
2 災害時における看護の国際協力について理解できる。		1) 災害時の国際協力のしくみ・国際救援看護活動(文化、習慣、生活状況に応じた対応、人、物資DMAT)	
3 災害サイクルに応じた看護活動について理解できる。	6 (3回)	1) 災害各期の看護 (1) 発災期・対応期 (①超急性期 ②急性期 ③亜急性期) CSCATTT・3T・トリアージ (2) 復旧・復興期(慢性期) ①避難所・仮設住宅・体育館での環境と看護 ・状況下毎のストレス発生要素と対応 ・健康障害者の発見と対応 ・環境整備、健康チェック (排泄、入浴、清潔ケア) ②感染予防 ③コミュニティ作り・支援システム作り (3) 静穏期(前兆期を含む) ・ソフト面の整備(教育、スキルアップ訓練 マニュアル作りと見直し) ・ハード面の整備 (施設点検、病院、防災用具の準備) 2) こころのケア (1) 被災者および救援者の心理 心理プロセス(PTSR:外傷後ストレス反応 ASD:急性ストレス障害 PTSD:外傷後ストレス障害)	
4 災害時の応急処置の実際が実施できる。	4 (2回)	1) 災害時に必要な技術 (1) トリアージの実際 ①スライドでの机上シミュレーション ②模擬患者を使ったトリアージの訓練 (2) 搬送と被災者への対応 ①包帯法と担架での移送 (3) CPR(心肺蘇生法)とAED	<校内実習> (2H) 「包帯法・担架での移送・トリアージ」 <防災訓練> (2H) 「トリアージ体験」 ・多摩市合同防災訓練に参加
	試験1H		

- 科目目標:1 診療の補助技術における危険要因と事故防止について理解できる。  
 2 ハイリスク状況における状況判断と対応方法について基礎的知識・技術を習得できる。  
 3 安全で確実に採血するための基礎的知識・技術を習得できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 医療安全について理解できる。	2 (1回)	1) 医療安全とは 2) ヒューマンエラー 3) 医療事故と看護事故の分析と活用	
2 診療の補助業務の危険要因を認識し事故防止の方法が理解できる。	6 (3回)	1) 診療の補助業務における事故防止 (1) 注射業務プロセスからみた事故防止 (2) 薬剤からみた事故防止 ①類似性 ②ハイリスク薬剤 (3) 救急カートの薬品・機材 (4) 輸血時の事故防止 (5) 検査に伴う事故防止 (6) 情報伝達と共有・管理	<校内実習> (2H) 「安全で確実な注射の準備と実施」
3 安全で確実な輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱いが理解できる。	4 (2回)	1) 輸液ポンプ、シリンジポンプの適用 2) 安全で確実な輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い (1) 輸液セット・三方活栓の接続 (2) 輸液ポンプ・シリンジポンプの設定 (3) ポンプ使用時の事故防止 ①フリーフロー ②サイフォニング現象 3) 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用中のトラブルと対処 (1) アラームの原因と対処	<校内実習> (2H) 「輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い」
4 チューブ類挿入中の危険要因と事故防止が理解できる。	4 (2回)	1) チューブ・ラインの種類と挿入目的 2) チューブ・ライントラブルの起こりやすい状況と対策 (1) 外れ (2) 閉塞 (3) 抜去 (4) 切断 (5) 不適切な圧力 3) チューブ・ラインを挿入している人の事故防止と援助の実際 (1) 寝衣交換 (2) 車椅子への移動・移送	<校内実習> (2H) 「チューブ類が挿入されている人の看護」
5 ハイリスク状況における事故防止に向けた状況判断と実施ができる。	8 (4回)	1) ハイリスク状況下での事故防止 (1) エラーを誘発する状況 ①口頭指示 ②作業中断 ③多重課題 2) ハイリスク状況下での点滴静脈内注射の実施 ①作業中断 ②タイムプレッシャー ③事故防止対策	<校内実習> (4H) 「ハイリスク状況下での点滴静脈内注射」
6 安全で確実な採血が実施できる。	4 (2回)	1) 採血 (1) シリンジ採血・真空管採血 2) 医療廃棄物の取り扱い 3) 針刺し事故防止と事故発生時の対処	<校内実習> (2H) 「採血」
	試験2H		

科目目標:1 臨床に近い状況下で、優先すべき援助の判断や対応する力を養う。  
 2 複数患者の状態や状況に合った援助を計画し実践できる。

学習目標	時間数 (回数)	学習内容	備考
1 臨床看護実践の特徴が理解できる。	2 (1回)	1) 臨床看護実践の特徴 (1) 他者との連絡・調整 患者・家族との調整、看護師間(同僚・上司)との調整、他職種との調整 (2) 複数の課題に対する優先度の決定 患者の病態・ADL 1日の患者のスケジュールや自分の業務量 受け持ち患者の治療や処置に対する知識 援助に要する時間の予測 チームメンバーの協働 (3) 流動的環境における判断 緊急性と重要性 安全・安楽の確保 適時・適切な人への報告・調整	
2 優先順位を判断し、複数患者(二人)の援助計画が立案できる。	4 (2回)	1) 複数患者に実践すべき援助計画の立案 2) 援助の優先順位を踏まえた計画の立案 (1) リスクアセスメント (2) 日常生活の援助・診療の補助技術 (3) 一日の患者スケジュールの調整 (4) 優先度の決定	
3 複数患者への援助を状況に合わせて実施できる。	8 (4回)	1) 複数患者(二人)への援助の実際 (1) 安全・安楽の確保 (2) 自立度・状況にあわせた援助の実施 (3) 看護技術の統合 (4) 援助の効率性 (5) タイムマネジメント 2) 自己の実践能力に合わせて対処方法の決定 3) チームメンバーとの連携	<校内実習> (4H) 「複数患者への援助」
4 看護実践の中断に対して、その対応を判断し患者各人に必要な援助が実施できる。	試験1H	1) 看護実践の中断への対応 (1) 予期しない患者への対応 (2) 突発的な事態 (3) 時間の切迫 (4) I-SBAR 2) 評価・修正 (1) 計画の妥当性 (2) 中断状況への対応	<校内実習> (4H) 「看護実践の中断への対応」